

661
18.10.10

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組)〒543-0021大阪市
天王寺区東高津町7-11大阪
府教育会館4階412号/TEL
06-6765-1558 FAX06-6765-
1268/発行責任者=石田精三
/編集責任者=韓秀根

第83回教育祭
10月28日(日)
10時~12時
大阪城公園 教育塔前

■なぜ、議員をめざしたのですか？
7年間、八尾市教職員組合の委員長をつとめました。当時は、橋下知事のもとで教職員バッシングが強く、八尾でも議会や行政に学校現場の声が届かないと感じていました。教育環境をより良くするために自分自身が議員になるしかないと感じました。

また、小学校の教員時代
9月議会では、小学校5

現場と政治をつなぐ目政連
子どもたちの笑顔のため課題と向き合う
八尾市議会議員 大星なるみ

■議会ではどんな活動をしていますか？
市議会では文教委員会に所属。子育て・教育・生涯学習の分野で調査・審査・議論しています。

25教室へのエアコン設置について遅くとも20年の夏までに完了する予算案を可決しました。また、ブロック塀を安全な塀にするための補正予算も。

■3期目をめざす決意は？
憲法改悪・道徳教科化など、安倍政権の動きのなかで、教育現場にも様々な困難が及んでいます。子どもたちの笑顔のために、教職員組合とともに課題に向き合い、でき

会派をこえて議員間で話すこともできるようになりました。



地域のお祭りに参加

2018 大阪教組 教研分科会
10月13日(土) 9時~受付
会場: 大阪市立美津島中学校
J市東区 加島駅下車 東へ1km
大塚ビル1F・2F・3F 大塚ビル13階から 加島駅(バス)下車

出会う学びつながり

教科別分科会
9:00受付
9:10~12:00
(1) 国語分科会
(2) 算数・数学分科会
(3) 理科分科会
(4) 社会分科会
(5) 英語分科会
(6) 音楽分科会
(7) 美術分科会
(8) 体育分科会
(9) 保健・生活分科会
(10) 総合分科会

議題別分科会
13:00受付
13:10~16:00
(11) 教育行政
(12) 労働問題
(13) 労働組合
(14) 労働争議
(15) 労働安全衛生
(16) 労働環境
(17) 労働法
(18) 労働経済
(19) 労働政策
(20) 労働関係
(21) 労働問題
(22) 労働組合
(23) 労働争議
(24) 労働安全衛生
(25) 労働環境
(26) 労働法
(27) 労働経済
(28) 労働政策
(29) 労働関係
(30) 労働問題

教研の秋
教研分科会、そして教育改革フォーラムへ

10月13日に、大阪教組教研分科会を開催する。すでにリポート一覧を号外で発行している。聞いてみたい、学びたいリポートが満載だ。リポーターの思いや子どもたちの様子が語られる。「気になるあの子」について考えることができる時間、日頃感じていることを言い合える時間、他の人の考えを聞く時間がある。そして、人となりがわかる。新たな出会いとつながりを求め、仲間といっしょに大阪府立美津島中学校へ。

地域からの教育改革を
子どもの権利条約が国連で採択された11月20日を中心に、教育改革フォーラムを各ブロック単位で開催する。子どもは地域で育つという観点を大切に、地域からの教育改革を推進していくため、平和と民主主義、大阪の教育を大切にしたい教育改革をめざし、保護者や地域関係団体に広く呼びかけ、連携を深めていこう。

2018 教育改革フォーラム 開催一覧				
ブロック	日時	会場	内容	
豊能	11月3日(土) 10:00~12:00	豊中市立生活情報センター(くらしかん)	「やっぱり一緒にないとあかんねん」~「ともに生き、ともに学び、ともに育つ」教育への願い~ 講師: 井上康さん(国障年豊中市市民会議 幹事長)	
三島	11月2日(金) 18:00~19:45	茨木市男女共生センター(ローズWAM)	「どうしてですか!?!『特別の教科 道徳』~キーワードは“人権教育”~ コーディネーター・助言者: 新居晴幸さん(前教育総研所長)	
北河内	11月2日(金) 18:30~20:00	メセナひらかた多目的ホール	「『見た目問題』って何だろう?」~アルビノの私を通して考えてみた~ 講師: 森本舞さん(アルビノ・ドーナツの会)	
河内	10月20日(土) 14:00~16:00	大阪国際交流センター	持続可能な学校づくり ~ブラックからカラフルへ~ 講師: 住田昌治さん(横浜市立日枝小学校校長)	
泉州【終了】	9月8日(土) 14:00~16:30	和泉市北部リージョンセンター	「性の自立と境界線」 講師: 北野真由美さん(えんばわめんと堺)	
大阪市	11月1日(木) 18:30~20:00	アネックスパル法円坂	継承の広場2018「これからの教育のゆくえ」 講師: 前川喜平さん(元文部科学事務次官)	
種別	11月17日(土) 16:00~18:00	たかつガーデン鈴蘭	大阪の支援教育を考える 講師: 中田正敏さん(明星大)	

大阪教組は8月30日、外国にルーツをもつ教職員ネットワーク(ルーツネット)の学習会を行い、12人が集まった。

学習会では、09年のルーツネット設立以降のとりくみを紹介。設立当時130人だったルーツのある教職員が現在では200人近くに増えていることや、所有免許状調査で本籍地や国籍

解放共闘の秋
ルーツネット学習会を 解放共闘の交渉につなごう!

日々感じていることを語り合った

続いて、于濤さん(八尾市教組)は、「講師として初めて算数の少人数指導をした学校では、保護者から管理職に対して『どうして中国人の先生に教えられるのか』という話を、何のフォローもなく私に伝えてくる管理職の理解のなさに、

解放共闘交渉では、外国籍教員の処遇や、多文化共生教育をすすめていくための教育内容について、府に

未加入者に 声かけを!
組織拡大の秋

大阪教組は毎年、10月・11月を組織拡大月間と位置づけている。すべての職場で、あなたの隣にいる未加入者に、「組合でいっしょにやろう!」と声をかけよう。

大阪教組は、子どもたちの教育と教職員の生活に責任を持つてとくみを展開している。子どもたちにとつて安心・安全な学校づくりを推進していること、教研活動を通して実践を積み上げていること、教職員の交流を深め、教職員の権利保障や福利厚生に努めていることなどを発信しよう。安心して働き続けるために、そしてすべての子どもたちのために、組織拡大をすすめよう。

10月11月は組織拡大月間です!

教え子を再び戦場に送るな

日政連：第25回参議院選予定候補者

みずおか俊一さんに聞いてみました!①



Q：教員として現場にいたころの経験で、思い出されることはどんなことですか？

A：私は10年間、現場で教員をしていました。兵庫県で中学3年生の担任をした時、進学を希望していたのに、経済的な事情で進学できなかった子がいました。やっとなことで見つけた就職先をあつさり辞めて運送会社に転職するなど苦労したのですが、数年後に事故で亡くなったと聞きました。当時、クラスで二人の子が進学できませんでした。もし、この子たちが高校に行く手段があったら別の人生があったのではないかと、すべての子どもたちに選択肢があるべきだと強く思いました。

すべての子どもたちに
選択肢があるべき

教育

で大きな問題になっていました。朝鮮学校が排除されるという大きな課題は残っていました。しかし、無償化を実現できたことは、子どもたちの進路を拓く大きな力となったと思います。

災害救援(台風21号・北海道地震)・国際連帯カンパ

台風21号

9月4日、「非常に強い」勢力で日本に上陸した台風21号は、北海道胆振東部地震

9月6日、北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7を記録する地震が発生した。

○大阪教組は、例年の国際連帯カンパに加え、子ども・教職員の支援、学校教育の早期復興等のためカンパ活動にとりくみます。ご協力をお願いします。

500円以上の
カンパを!



近畿地方を中心に広い地域に被害をもたらした。

第2回授業と集団づくり連続講座

『動物園』は『動物学園』!

第2回となる「授業と集団づくり連続講座」を11月10日、天王寺動物園で行う。講師は教研分科会の理科の共同研究者として様々な助言を頂いている子ども情報研究センター代表理事の森山康浩さん。

今回の講座は、校外学習で訪れることの多い「動物園」でのフィールドワーク。動物園は子ども連れの行楽地と思われていることが多いが、世界的には動物園を回り、動物の見方を教えるという意味があり、動物について知り研究するために学者や学生が活用する所、同時に公園として多くの人も楽しめる所にしてあるというのが常識だと森山さんはいふ。

『動物園』は、動物の生態を学ぶ『動物学園』。ただ連れて行くだけではなく、森山さんと一緒に動物園を回り、動物の見方を教えるという機会にしたい。子どもとの参加も大歓迎。子どもとおとなの見方、感じ方、受け止め方を比較しながら巡ること。動物園へ行こう!

日時：11月10日 9:30
14:00小雨決行 9:20
てんしばゲート前集合

2018年度 第2回
授業と集団づくり 連続講座
動物園へ行こうよ!
2018.11.10(土)
9:30 START 天王寺動物園
9:20 てんしばゲート前集合
講師 森山 康浩さん
子ども情報研究センター代表理事

お詫びと訂正
大阪教組ニュース659号1面で、共生推進教室の設置校を「住吉高・東住吉高」としていましたが、設置されるのは、住吉高ではなく今宮高でした。お詫びして、訂正します。

他各自必要と思う物
▼参加費：1000円(組合員は大阪教組が負担)
▼先着30名
▼申込み：各地域の教職員組合へ

給食での合理的配慮とは?

一ミキサー食導入について一

日教組栄養教職員研究集会

7月28日(土) 29日(日) 横浜にて第30回日教組栄養教職員研究集会があり、第3分科会「職務内容の確立、労働条件の改善」で大阪から枚方市の佐々木和代さんが「学校給食におけるミキサー食導入について」の報告を行った。

障害者差別解消法の制定にともない、17年4月からミキサー食を導入することになったが、調理員の研修はなく、すべて現場まかせ

だった。そのため、どれくらいミキサーにかけたらよいのか、どんな食材がミキサーにかけられないのか等、手探り状態で始めることになった。しかも、ミキサーは購入されたものの環境整備が整わないままだったため、最終加熱を行うコンロもなく、衛生面に大きな不安がある方法になってしまった。保護者との面談や学校での確認は、アレレギ対応のノウハウを活用した。参加者や共同研究者の方からは最終加熱を行わないのは危険であるという意見が出された。報告者はこの意見をもちに今後の改善につなげていきたいと今後の展望を話した。

全国の仲間が集まることで、多くの情報を得ること



報告する佐々木さん

どうなる・どうする これからの教育⑨

企業が教育をねらっている?!

世界の教育の動きを見てみると、「教育の民営化・商業化」が進んでいます。「Pearson」や「Bridge」という企業が作りだした「利潤追求型の学校」。ここで働くスタッフは、70%が無資格(教員免許等がない)で、子どもたちを指導しています。そのようなスタッフたちが、誰でも同じ授業を行うことができるよう、タブレットに話す言葉(セリフ)や、板書の内容までが表示され、授業が「標準化」されています。また、この学校に通っている子どもたちを、自分たちの企業で働かせるためのカリキュラムを編成。いったい、誰のための、何のための学校なのか、教育とは何なのでしょう。子どもたちを、「商売の相手」「商品」としか考えていません。このような動きは、どんどん広がっています。「教育は儲かる」のです。そして、この動きは日本でも広がっています。市町村での教職員研修でも一部が業者委託されているところもあります。これも「教育の商業化」の一つではないでしょうか。

すべては子どもたちのために